

2025年（令和 7 年）1月31日

新年度予算編成状況説明会

対話と共創でつくる ／もっと／やさしいまち明石



【2025年度のまちづくり方針】

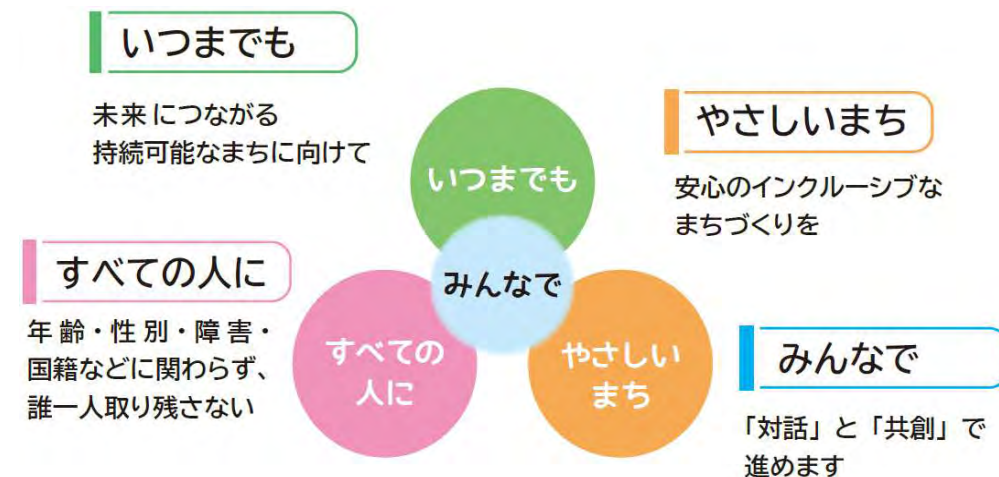
対話と共創でつくる ^{もっと} やさしいまち明石

市民の笑顔があふれる明石市に

○明石市がこれまで取り組んできた「こどもを核としたまちづくり」、「誰にもやさしいまちづくり」を更に深化させるだけでなく、対話と共創を通じて、多様な市民ニーズに寄り添い、よりきめ細かな取組を市民目線で展開することで、市民生活に更なる「安心」が生まれる“**もっと**”やさしいまち明石を目指します。

SDGs未来安心都市・明石

～ いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで ～



【2025年度予算における4つの視点】

① 対話と共創(コ・クリエーション)のまちづくり

- “もっと”やさしいまち明石をみんなで実現していくため、まちづくりの基本方針である「対話と共創」を第2ステージへ進めていきます。
- タウンミーティングなどで、市にいただいた様々なご意見の背景や原因等を探り、課題解決やより良い施策展開に向けて、市民と共に考え、創り上げていきます。
- 具体的には、これまで実施してきたタウンミーティングや民間提案制度に加え、対話と共創の機運醸成に向けた「(仮称)対話と共創のウィーク」の開催や産官学民の多様な主体が参画する「(仮称)共創プラットフォーム」を構築し、イノベータータイプの共創の取組を展開していきます。

【2025年度予算における4つの視点】

② 環境と経済の好循環 のまちづくり

環境を良くすることが経済を発展させ、経済の活性化が環境を改善するという「環境と経済の好循環」に取り組むことで、本市の豊かな自然環境の保全と地域経済・地域産業の活性化を図り、持続可能なまちづくりを推進します。

③ 市民にやさしいDX の推進

市民サービスの充実や行政運営の効率化を図るため、AI・IoTなどの先端技術の積極的な活用を進め、市民の暮らしや行政等のあらゆる分野でDXを強力に推進します。

④ あかしSDGs後期 戦略計画の策定

あかしSDGs前期戦略計画が2025年度までの計画であることから、後期戦略計画（2026年度～2030年度）の策定に取り組み、“もっと”やさしいまち明石をソフト・ハードの両面から計画的に推進します。

2030年の
あるべき姿

2025年度
まちづくり
方針

重点的に
推進する
まちづくり
の柱

SDGs未来安心都市・明石

～ いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで ～

対話と共創でつくる“もっと”やさしいまち明石



対話と共創のまちづくり



安全安心の まちづくり

市民の安全・安心な暮らしを確保するため、地震や台風をはじめとする自然災害への対応やインフラの計画的な整備などソフト・ハードの両面から取り組みます。



こどもを核とした まちづくり

「こどもまんなか社会」の実現に向け、明石独自の5つの無償化の継続に加え、生きる力を育み未来に夢が持てるよう多様な学びの保障や子育て環境の充実など、きめ細やかな取組を拡大します。



インクルーシブの まちづくり

誰もが「ありのままの自分」でいられ、支え合いながら安心して暮らせる共生社会の実現を図るため、全国初のインクルーシブ条例などに基づき、すべての人にやさしい取組を一層推進します。



豊かな自然を活かした まちづくり

「気候非常事態宣言」に基づく「ゼロ・カーボンあかし」の推進や「ゼロ・ウェイストあかし」に向けた資源循環やごみ減量、豊かな自然環境を次世代につなぐための取組など、持続可能なまちづくりに取り組みます。



にぎわいのある まちづくり

まちの持続可能な発展を目指すため、地域産業の更なる振興や地域の活力と交流を生み出すまちづくりプロジェクトの推進や大蔵海岸の魅力向上など、まちの元気や魅力の創出に取り組みます。



新年度の主な取り組み INDEX

	質の高い教育環境の提供と避難所の機能強化 体育館（全中学校・明商）への空調整備	3.7億円
	一人ひとりのこどもに応じた適切な支援 不登校児童生徒に対する支援の充実	1.3億円
	こども・若者の健やかな育ちを応援 こども・若者の居場所づくりとこども計画の策定	5,735万円
	物価高騰に係る子育て世帯への支援 学校給食費支援・高校進学のための給付型奨学金	3.6億円
	妊娠・子育てまると寄り添い支援の拡充 1か月児健康診査費用の助成・5歳児発達相談事業の充実	1,336万円



新年度の主な取り組み INDEX

環境 経済	環境と経済の好循環によるまちづくり 脱炭素社会（ゼロ・カーボンあかし）の実現に向けた取組	2.3億円
環境 経済	ゼロ・カーボンにも寄与する循環型社会の実現 ゼロ・ウェイストあかしの取組（ごみ減量・再資源化）	1,020万円
環境 経済	豊かな自然と共生し、自然と調和のとれたまちづくり ネイチャーポジティブの実現に向けた取組	630万円
安全 安心	安全・安心を支える基盤強化 多様な被災者への配慮とニーズへの対応	1,221万円
安全 安心	日常における安全・安心の確保 防犯カメラによる地域の防犯力向上	4,610万円



新年度の主な取り組み INDEX

インクルーシブ	笑顔あふれる共生社会づくり 介護・障害分野の福祉サービスにおける環境整備	12.0億円
インクルーシブ	住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり 強度行動障害のある人へのグループホーム利用支援	2,900万円
にぎわい	まちの魅力発信 大蔵海岸の魅力向上（世界一のビーチスポーツスポットを目指して）	1,117万円
安全安心 にぎわい	より快適で住みやすい都市基盤づくり まちづくりプロジェクトと安全安心の都市基盤整備の推進	—
対話共創	対話と共創の第2ステージ 対話と共創のまちづくりの推進	1,018万円



体育館(全中学校・明商)への空調整備

質の高い教育環境の提供と避難所の機能強化

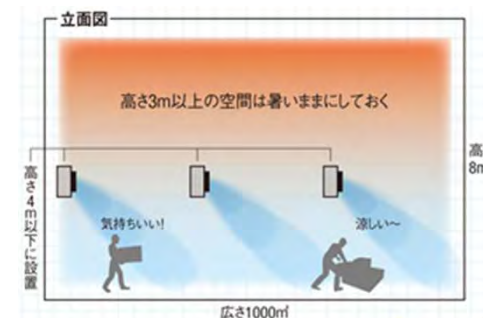
事業費 **3.7億円**

■ 大風量エアコンの導入(2025年7月稼働予定) **新規**

- 通常空調機の数倍の風量かつ直進性のある大冷風によって人がいる空間のみを冷やすため、消費エネルギー量が少なく環境負担が抑制される。
- 空調機器設置 400万円×75台(1校当たり3~5台) 3.0億円
- 高圧受変電設備の改修 500万円×14校 0.7億円

■ 遮熱シートの設置 **新規**

- 民間提案制度による試行的取組として体育館に遮熱シートを設置
- 効果検証の結果を踏まえて他校への導入を検討





不登校児童生徒に対する支援の充実

一人ひとりのこどもに応じた適切な支援

事業費 1.3億円

■ 校内フリースペースの整備 拡充

- 全中学校(13校)及び小学校(14校)に設置(新設:7小学校)
- 学習や生活支援を行う居場所サポーターを配置

■ フリースクール等の利用料助成

- 対象者数:約40人
- 支給金額:上限1万円×12月

■ 公設民営のフリースペースの運営

- 対象者:市内在住の6歳から18歳までの児童生徒及びその保護者
- 定 員:東部、西部の各施設30名
- 内 容:こどもが安心できる空間での遊びや学習支援、こどもや保護者からの相談支援など





こども・若者の居場所づくりとこども計画の策定

こども・若者の健やかな育ちを応援

■ プレーパークの開催 拡充

- 場所:大蔵海岸公園、明石公園 等 ● 回数:10回程度
- 人材育成に向けた研修の実施
- 補助金の創設:上限20万円／1団体(想定)

事業費 **5,735万円**



■ こども若者交流施設「あかしユースポート」の開設 新規

- 場所:こども第三の居場所西部施設内
- 利用開始:2025年4月1日(予定)
- 内容:音楽や学習、イベントなどの多様な活動ができるスペースを放課後、休日にも一般開放
若者会議とも連携し、若者の声を聞きながら、よりよい環境づくりと活動支援を行う

■ (仮称)あかしこども計画の策定 新規

- ワークショップ等によるこども・若者との対話
- オンラインによる常設の意見聴取フォームの整備 ● 若者等に向けた意識調査の実施



物価高騰に係る子育て世帯への支援

物価高騰重点支援交付金の活用

事業費 3.6億円

■ 学校給食費等負担軽減に対する支援:2.4億円

- 物価高騰に伴う保護者の負担軽減を図るため、学校給食費の増額分を支援



■ こども夢応援プロジェクト:1.2億円

- 親の意向や経済的状況に依拠せず、自らの意思で安心して夢に向かうことができるよう、高等学校進学に向けた給付型奨学金の支給と学習・生活サポートの実施。

【給付額】 ①入学準備金30万円(上限)

②在学時支援金1万円×12月 (※2025年度募集から月額5千円)

【学習・生活サポート】 ①学習支援、②学校生活支援

【定員】150名





妊娠・子育てまるごと寄り添い支援の拡充

安心してこどもを産み・育てる環境づくり

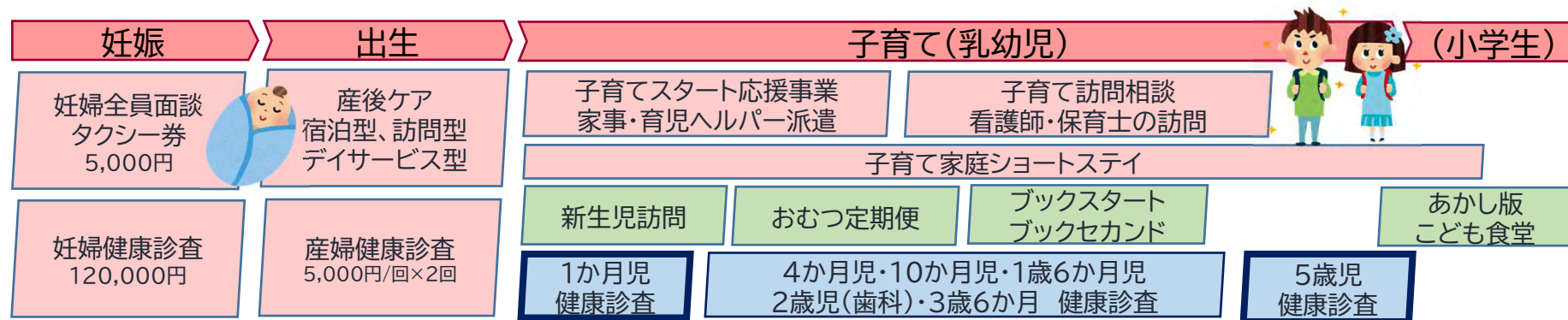
事業費 1,336万円

■ 1か月児健康診査の費用助成 **新規**

- 対象者：1か月児の保護者
(2025年4月以降に出生した児)
- 助成額：上限4,000円(1回のみ)
- 診査項目：身体発育状況、栄養状態、
疾病及び異常の有無等

■ 5歳児健康診査(発達相談) **拡充**

- 希望者に行っていた問診を
すべての5歳児の保護者に実施
(問診票のオンライン回答)
- 発達相談にかかる支援機関の情報提供や
心理士による個別相談の実施



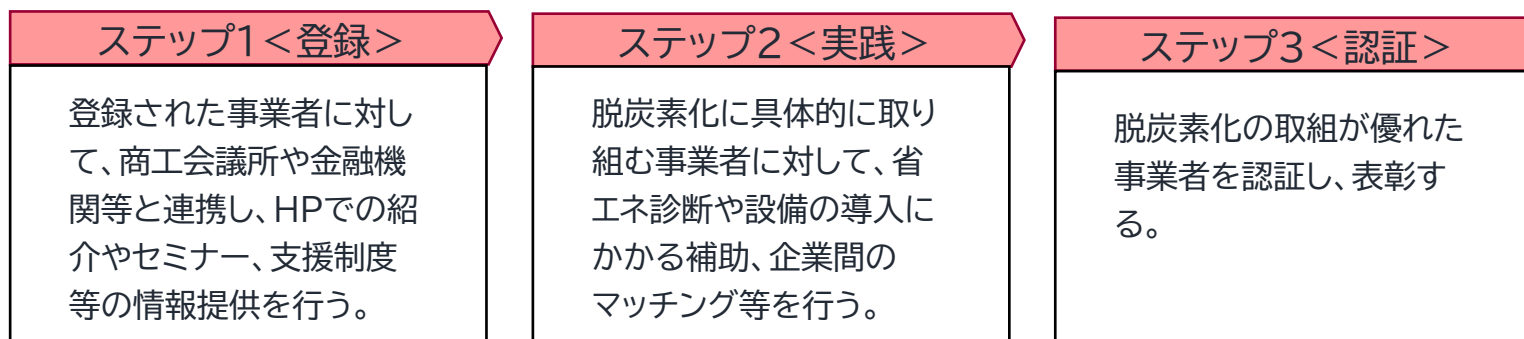
脱炭素社会（ゼロ・カーボンあかし）の実現に向けた取組

環境と経済の好循環によるまちづくり

■ 事業者向け脱炭素経営支援制度 **新規**

事業費 **2.3億円**

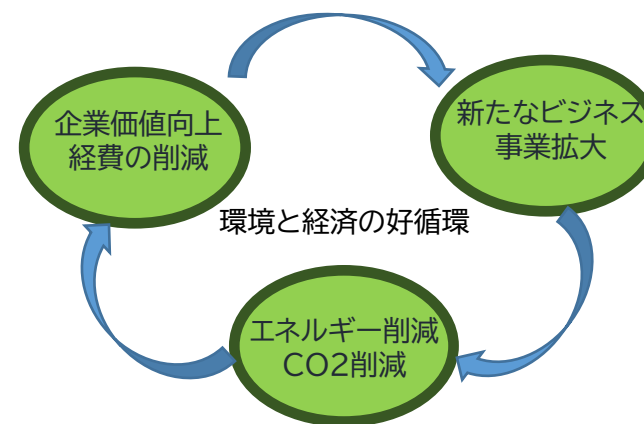
● 事業者の取組に応じた伴走支援の実施



● 脱炭素経営に向けた補助金等の支援メニューの充実

①省エネルギー診断	5件	
②太陽光発電システム(自家消費型)	上限300万円	3件
③LED照明等の省エネルギー設備 ※中小企業のみ	上限50万円	50件
④普通充電設備	上限10万円	10件

※国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用



脱炭素社会(ゼロ・カーボンあかし)の実現に向けた取組

環境と経済の好循環によるまちづくり

■ 家庭向け脱炭素化設備導入支援事業 拡充

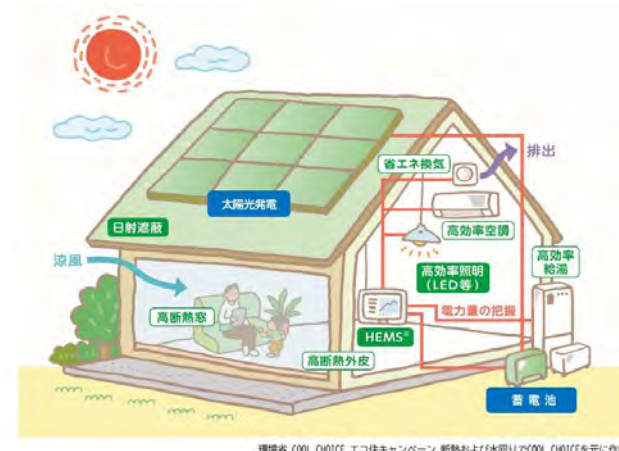
- 対象者:市内の住居に対象設備を設置した者
又は、対象設備を設置した住居を購入した者
(いずれも、自ら居住するためのもの)

既存住宅	①家庭用蓄電池	上限8万円	150件
	②太陽光発電設備	定額10万円	150件
新築住宅	①+②セット	定額10万円	30件

- ゼロエネルギー住宅普及に向けた事業者向け説明会等も開催

■ 公共施設の脱炭素化推進事業 拡充

- 太陽光発電設備が設置可能な公共施設に対して、50%の設置を目指す(2030年まで)
- 災害時の避難所となる小学校に先行設置
- 導入予定規模:小学校2校(約238kW)



環境
経済

ゼロ・ウェイストあかしの取組

ゼロ・カーボンにも寄与する循環型社会の実現

事業費 1,020万円■単純指定ごみ袋の導入検討 **新規**

- 袋の規格やデザインの検討

■家庭用生ごみ処理機等の助成

- 3万円(上限)×100人

■生ごみ処理機の導入

- 小学校への導入に向け、パイロット事業の実施

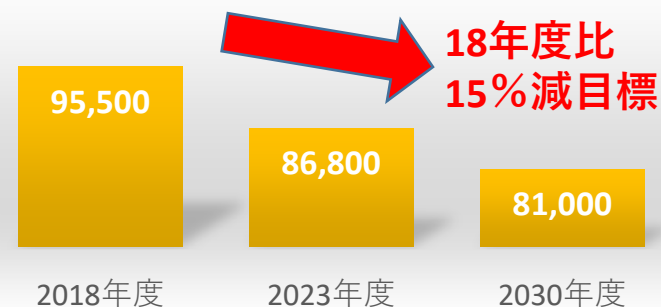
■小学生用ごみ学習本の再編 **新規**

■紙類の再資源化の推進

- 紙類リサイクルBOX「Taco箱」での紙資源回収
- 事業系機密文書の無料回収



■ 明石市のごみ処理量 (t)



環境
経済

ネイチャーポジティブの実現に向けた取組

豊かな自然と共生し、自然と調和のとれたまちづくり

事業費 **630万円**

- (仮称)水とみどりでつながる あかしネイチャーポジティブ宣言 **新規**
- 生物多様性あかし戦略の改定
- 教育現場との連携による環境教育の推進
- 大久保北部市有地における里山の環境整備 **拡充**
 - 自然体験や環境学習の場として利用
 - 神戸市との連携による体験型の里山活用
- 神戸市との連携協定に基づく取組
 - 生物多様性フォーラムや環境フェア等の開催
 - 両市の市民を対象とした環境体験や学びの場の提供
- 特定外来生物の防除等





多様な被災者への配慮とニーズへの対応

安全安心を支える基盤強化

事業費 1,221万円

■ 多様な視点に配慮した避難所の充実 **拡充**

- 避難所への備蓄倉庫の整備(藤江小、沢池小、大久保南小)
- 備蓄物資の充実(簡易ベッド、間仕切り、照明、ペット用品等)
- 医療的ケア児等のための電源確保(発電機・蓄電池)
- 福祉避難所の拡充:2025年34施設予定(10施設増)



■ 要配慮者への避難支援体制の構築 **拡充**

- 個別避難計画の作成(2024年12月時点:258件策定済み。)
- 地域・福祉専門職への費用助成・報酬
計画作成3,000円/1件(福祉専門職:7,000円/1件)、避難訓練実施20,000円/1団体
- ひなんサポーターの養成
①参加者体験型の研修の開催、②各地域版の(仮称)ミニひなんサポーター研修の開催



防犯カメラによる地域の防犯力向上

日常における安全・安心の確保

事業費 **4,610万円**

■ 地域の防犯カメラの設置・更新費用の助成 **拡充**

- 対 象:自治会等 ● 補 助 率:2/3
- 補 助 額:1台あたり上限6万円→上限12万円(ポール設置ありの場合は上限18万円)
- 補助台数:20台(1団体2台まで。応募多数の場合は抽選)



■ 全中学校への防犯カメラの設置 **新規**

- 設置台数:1校あたり防犯カメラ2～4台、モニター1台

■ 市直営の防犯カメラの計画的な更新・増設

- 2022年度73台→2026年度120台
- 防犯カメラのネットワーク化





介護・障害分野の福祉サービスにおける環境整備

笑顔あふれる共生社会づくり

事業費 **12.0**億円

■ 介護・障害分野におけるDXの推進 拡充

- ICT機器や介護ロボットの導入支援、ICタグによる見守り環境の整備

■ 人材育成・確保

- 市内福祉事業所勤務の職員及び法人への研修や試験の費用助成
 - ①補助率:個人1/2、法人3/4 ②補助額:上限6万円(初任者研修は全額補助)
- 介護支援専門員への資格更新の費用助成
 - 介護支援専門員(3万円)、主任介護支援専門員(5万円)
- 市主催によるサービス管理責任者等研修、就職説明会、各種研修・試験対策講座の開催

■ 施設整備

- 高齢者施設及び障害者施設の整備補助
- 定期巡回サービス事業者参入促進





強度行動障害のある人へのグループホーム利用支援 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり

事業費 2,900万円

■ 強度行動障害のある人を受け入れるグループホームへの加算 **新規**

- 目的: 親亡き後の生活場所や入所施設等からの地域移行の受け皿として、強度行動障害のある人等の支援に対応できるグループホームの整備等を目指す。
- 対象: ①強度行動障害支援者養成研修修了者を配置するグループホーム かつ
②国の報酬体系以上の人員配置を行う場合

● 加算額	国の加算	30:1以上、12:1以上	約1,000円/日
	市の独自加算①	2倍配置⇒6:1以上	+1,000円/日
	市の独自加算②	3倍配置⇒4:1以上	+2,000円/日
	市の独自加算③	4倍配置⇒3:1以上	+3,000円/日
	市の独自加算④	5倍配置⇒2.5:1以上	+4,000円/日



※強度行動障害とは、自傷、他害など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のこと。



大蔵海岸の魅力向上

世界一のビーチスポーツスポットを目指して

事業費 **1,117万円**

■ (仮称)大蔵海岸みらいプロジェクトの実施(魅力向上に向けた検討) **新規**

■ 既存施設の改修等 **拡充**

- 施設改修:ベビールーム(授乳室)、シャワー施設、足洗い場(年度内改修予定)

■ 神戸マラソンの開催協力 **新規**

- 開催日:2025年11月16日(日) ● 市内延伸:約2km ● 出走者数 約2万人

■ ビーチスポーツイベントの開催

- (仮称)AKASHI ビーチスポーツフェスタinOKURA(9月開催)
- 全日本ビーチバレーボール U-23 (7月開催)

■ 障害のある人の海水浴体験会

(インクルーシブビーチプロジェクト)

- 実施回数:年2回 ● 本格的な運営に向けた調査・検討



にぎわい

まちづくりプロジェクトの推進

より快適で住みやすい都市基盤づくり



■旧市立図書館跡地新施設整備事業

供用開始: 2027年度

【地域交流拠点】

用途: 多目的ホール・学習室等

建築(延床)面積: 最大800㎡

階数: 平屋建て

【屋外空間整備】

用途: 芝生・休憩施設・大屋根広場

・防災施設等

面積: 最大4,000㎡

■市道明石中央65号線(ペデストリアンデッキ)延伸

R7年度: 測量・設計



■西明石駅南地区整備事業

①駅ビル・改札[JR事業]

②駅前広場[市事業]

③駐輪場[市事業]

④西明石地域交流センターicotto整備[市事業]

用途: 複合用途(図書コーナー、集会所等)

建築面積: 約1,400㎡ 延床面積: 約3,900㎡

階数: 地上4階

(①～④供用開始: 2026年度)

⑤アクセス道路[市事業]



にぎわい

まちづくりプロジェクトの推進

より快適で住みやすい都市基盤づくり



■スマートIC設置に向けた検討

内容:石ヶ谷公園における梅林保全を前提とした整備ルートや総事業費の調査、検討

■大久保駅周辺市有地の利活用

○中部地区保健福祉センター用地
方針(案):大久保市民センターの移転整備と市民交流施設機能+民間施設併設も検討

○大久保市民センター敷地
方針(案):民間への売却・貸付

○JT跡地公共公益施設用地
方針(案):公園、広場、図書館、交流施設
→2025年度:暫定利用しながら利活用方策を検討

2025年度:
利活用に係る
基本計画の
策定

■二見図書館(ふたみん)の運営

コンセプト:誰もが買い物ついでに気軽に立ち寄りたくなる図書館(リビング&ライブラリー)

開設場所:二見町西二見駅前1-18

開館時期:2025年4月1日

面積:約540㎡

蔵書冊数:約3万冊(開館当初1.5万冊)

運営費:約7,000万円



安全
安心

安全・安心の都市基盤整備の推進

より快適で住みやすい都市基盤づくり



■阪神水道企業団からの新規受水

受水開始:2025年4月
 水道広域化推進プラン関連事業
 総事業費:約34.3億円
 事業期間:2023年度～30年度
 2025年度:
 ・神戸市連絡管布設(その2)工事
 ・神戸市連絡管布設(その3)工事詳細設計委託

■消防署新中崎分署

整備場所:相生町1丁目
 階数:4階建て
 概算工事費:約18億円
 延床面積:約1,975㎡
 事業内容:
 2025年度～建設工事



■市役所新庁舎

整備場所:現在地(中崎1丁目)
 階数:7階建て(7階は棟屋部分)
 概算工事費:約191億円
 延床面積:約21,000㎡
 事業内容:
 2025年度～27年度
 建設工事
 2028年度 移転、供用開始
 2028年度～29年度
 現庁舎解体、外構整備





安全・安心の都市基盤整備の推進

より快適で住みやすい都市基盤づくり

■新ごみ処理施設

施設規模:焼却施設 276t/日以下
資源リサイクル施設 55t/5h以下
事業方式:DBO方式
(公設民営、性能発注)

事業期間:

【施設整備】2026年度～30年度

【運営】2031年度～50年度

概算事業費:計810億円

施設整備費:493億円

運営費(20年間):317億円

※事業者選定における競争性を確保
するため価格点の満点に計648億円
以下を設定

2025年度:事業者の選定、旧大久保
清掃工場ほか解体工事の着工

■板額踏切(安全対策)

施行延長:16.7m(踏切部)

2025年度:現況調査、予備設計



■江井ヶ島松陰新田線

事業延長:1,500m

総事業費:約22億円

2025年度:道路築造工事、埋蔵文化
財調査、用地買収等

2026年度:供用開始予定

■山手環状線(大窪工区)

事業延長:700m

総事業費:約40億円

2025年度:道路築造工事、用地買収、
物件移転補償等

2026年度:供用開始予定

■藤江駅のバリアフリー化

内容:階段スロープ化、トイレのバリアフリー化等
総事業費:約6.2億円

2025年度:整備工事 27年度:竣工予定

■藤江駅周辺整備

内容:踏切拡幅、ロータリー・自転車駐輪場の整備
事業費:約1億円

2025年度:詳細設計等 2027年度:竣工予定

対話
共創

対話と共創の第2ステージ

事業費 1,018万円

■ 対話を通じたまちづくりの推進 拡充

- 世代別やテーマ別のタウンミーティングの開催(実績:全21回、延べ1,057名参加)
- 市民ファシリテーター養成講座の開催(2024年度:62名修了)
- 「(仮称)対話と共創のウィーク」の開催
期間中における様々なワークショップやシンポジウム等の開催



■ 産官学民との共創によるまちづくりの推進 拡充

- 民間提案制度の実施
2024年度:24事業を提案採用(うち条件付17事業)
2025年度:新たなテーマ設定による実施
- 多様な主体との包括連携協定の締結と運用
- 「(仮称)共創プラットフォーム」の構築
構成メンバー(案):市各部局、民間企業、業界団体、大学・研究機関、金融機関、まちづくり協議会、市民団体、NPO法人、あかしSDGsパートナーズ等
- ネーミングライツの導入(スポーツ施設等)



市民の笑顔があふれる明石市に



対話と共創でつくる 「もっと」やさしいまち明石



市民生活や経済活動の様々な困りごとへの対応、道路や上下水道等インフラの維持管理など、日常を支える施策にもきめ細やかに目配りし、市民のみなさまの「安心」を広げていきます。